改訂日　2014 年 02 月 01 日

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1．製品及び会社情報

製品名　：　LIR-290

会社名　：　株式会社クラレ
住所　：　〒100-8115　東京都千代田区大手町 1-1-3　大手センタービル
担当部門：　イソプレンカンパニー　エラストマー事業部　ポリマー販売部
電話番号：　03-6701-1616　FAX 番号　03-6701-1645
E-mail　elastomer_msds@kuraray.co.jp

推奨用途及び使用上の制限　：　ご使用に際しての適合性確認は貴社の責任でお願いします。
医療用途、食品用途への使用をご検討の際は、当社担当者までお問合せください。本製品の医療機器・医療用途のうち、人体中に埋め込まれて使用される用途(インプラント用途)への使用は固くお断り致します。

整理番号　：　KEP-103

2．危険有害性の要約

GHS 分類：

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
人健康有害性	急性毒性　(経口)	区分外
	(経皮、吸入)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない

	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

絵表示または
シンボル

注意喚起語　警告

危険有害性情報　アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ

注意書き　<予防>
使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護手袋を着用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
<対応>
皮膚についた場合、乾いた布でふき取った後、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合、暴露又は暴露の懸念がある場合は、医師の診断・手当てを受けること。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
<保管>
施錠して保管すること。
<廃棄>
内容物や容器を地域の規則に従って廃棄すること。

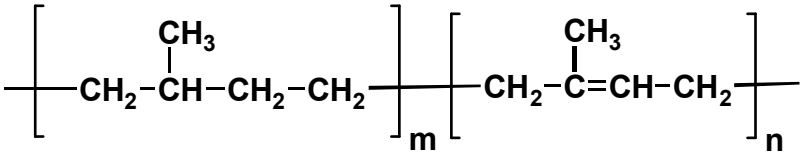
国・地域情報　消防法　指定可燃物　可燃性固体類

3．組成及び成分情報

化学物質･混合物の区別：　単一製品

化学名　：　イソプレン重合物の水添物

化学特性　：(構造式)



CAS 番号：　151789-04-7

成分及び濃度または濃度範囲（含有量）：	イソプレン重合物の水添物	99%<
	2,6-ジ-t-ブチル-4-クレゾール	0.1%
	ヘキサン	<0.7%
	シクロヘキサン	

官報公示整理番号：（化審法・安衛法）　化審法　(6)-1954
安衛法　高分子製造報告済み

4．応急措置

吸入した場合　：
・粘性の液体なので吸入の可能性は少ないが、成型加工時に発生する揮発性ガス等を吸入した場合には、新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。

・呼吸が止っている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行なう。

皮膚に付着した場合：・乾いた布などで十分に拭き取った後、水及び石鹸で充分に洗浄する。異常のある場合は医師の手当てを受ける。
・加熱物に触れた場合には、火傷の個所を多量の水で冷やす。水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合　：・清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、必要に応じて眼科医の手当てを受けること。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合　：・水でよく口の中を洗浄する。無理に吐き出させない。直ちに医療措置を受ける手配をする。
・被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

５．火災時の措置

消火剤　：・大量の水、粉末、二酸化炭素、泡消火剤。

「特有の危険有害性：・燃焼時の有害物質として、一酸化炭素や二酸化炭素等を発生します。

特有の消火方法　：・消火作業は風上から行なう。
・周辺火災の場合に、移動可能な容器は直ちに安全な場所に移す。
・周辺の設備等に散水して冷却する。
・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行なう。
・関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護　：・消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　・作業者に適切な保護具を着用させる(8「暴露措置及び保護措置」
保護具及び緊急時措置　：　の項を参照)

環境に対する注意事項　：　・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：・漏出したものをポンプ等で吸引して集め、密閉できる空容器に回収する。少量の場合には、乾いた布、土砂等で吸着させて、密閉できる空容器に回収する。床に少量付着したものは水洗いする。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策　・火気を避ける。
・静電気対策のために、装置、機器等にはアースの設置を確実に行う。

局所排気・全体排気　・必要に応じて、局所排気内で取り扱う。

安全取扱い注意事項　・火傷防止のため、加熱物には直接触れない。

（接触回避など）

保管：

保管条件（技術的対策、混触禁止物質等）	・雨水を避け、屋内に保管する。 ・直射日光が当たらないように保管する。 ・火気､熱源より遠ざける。 ・施錠して保管すること。 ・荷崩れ防止のため、段積みには注意する。 ・消防法の指定可燃物に該当するため、指定数量(3000kg)以上の場合、各市町村の指導に従う。
容器包装材料	・密閉できる容器を推奨する。

８．暴露防止及び保護措置

許容濃度	：	
日本産業衛生学会		設定されていない。
ACGIH		設定されていない。
管理濃度		設定されていない。
設備対策	：	必要に応じて、局所排気装置を設置する。
保護具		
呼吸器の保護具	：	必要に応じて、保護マスクを使用する。
手の保護具	：	必ず保護手袋を着用すること。
目の保護具	：	必ず保護眼鏡（普通眼鏡型、側版付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	：	標準的な作業服と安全靴を必ず着用すること。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状	：	粘性の高い液体（消防法危険物の「液状」には該当しない）
色	：	無色
臭い	：	無臭
pH	：	該当しない
融点・凝固点		該当しない
沸点、初留点及び沸騰範囲	：	該当しない
引火点	：	250℃以上（セタ密閉式）
爆発範囲	：	下限：　データなし　　上限：　データなし
蒸気圧	：	該当しない
蒸気密度	：	該当しない
密度	：	0.86 g/cm^3
溶解度	：	
溶媒に対する溶解性		水に不溶 トルエン、THF、クロロホルムに可溶
溶媒の溶解性		データなし
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
自然発火温度	：	データなし
分解温度	：	データなし
燃焼性	：	データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：	一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性　：	データなし
避けるべき条件：	・雨水を避け、屋内に保管する。 ・直射日光が当たらないように保管する。 ・火気､熱源より遠ざける。
危険有害な分解生成物：	データなし

１１．有害性情報

急性毒性：	経口	ラット	LD_{50}	2000mg/kg<
		マウス	LD_{50}	データなし
	吸入	マウス	TCL_0	データなし
	経皮	マウス	LD_{50}	データなし

皮膚腐食性・刺激性：	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	マウス局所リンパ節法　陽性
生殖細胞変異原性：	Ames 試験で陰性
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし ヘキサン・シクロヘキサン(0.7%以下含有)が該当する。
特定標的臓器・全身毒性－単回曝露：	データなし
特定標的臓器・全身毒性－反復曝露：	データなし
吸引性呼吸器有害性：	データなし

１２．環境影響情報

生態毒性

魚毒性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし

１３．廃棄上の注意

・廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律　同法施行令　第６条に準拠して埋め立てるか、焼却処理後、埋め立てる。
・容器・包材は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律　同法施行令　第３条に準拠して処理する。
・その他、各市町村の指導・条例に従って処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制
国連番号：　該当しない
国連分類：　該当しない
海洋汚染物質：　非該当
安全対策　：　容器の破損、漏れがないことを確かめる。
荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。
水がかからないように注意する
国内規制：　消防法　指定可燃物　可燃性固体類(指定数量 3000kg)
緊急時対応措置指針番号；　該当なし

１５．適用法令

化学物質管理促進法　該当しない
労働安全衛生法
危険物 該当しない
有機則 該当しない
表示対象物質 該当しない
通知対象物質 2,6-ジ-t-ブチル-4-クレゾール、ヘキサン、シクロヘキサン
毒物及び劇物取締法；該当しない
高圧ガス保安法；該当しない
消防法　指定可燃物　可燃性固体類(指定数量 3000kg)
化審法　第二種監視化学物質　該当しない
船舶安全法　該当しない
航空法　該当しない
海洋汚染防止法　該当しない

海外化学物質登録	米国	TSCA	151789-04-7
	カナダ	DSL	無
	EU	EINECS	ポリマー
	豪州	AICS	無
	韓国	ECL	無(有害性審査免除対象)
	中国	IECSC	2977
	フィリピン	PICCS	モノマー収載

１６．その他の情報

・この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としています。
・本製品はこの製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。
・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これらのデータや評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります
・また、ご使用に際しての適合性確認は貴社の責任でお願いします。

・医療用途、食品用途への使用をご検討の際は、当社担当者までお問合せください。本製品の医療機器・医療用途のうち、人体中に埋め込まれて使用される用途(インプラント用途)への使用は固くお断り致します。

・参考文献　JIS Z7252：2009 GHS に基づく化学物質等の分類方法